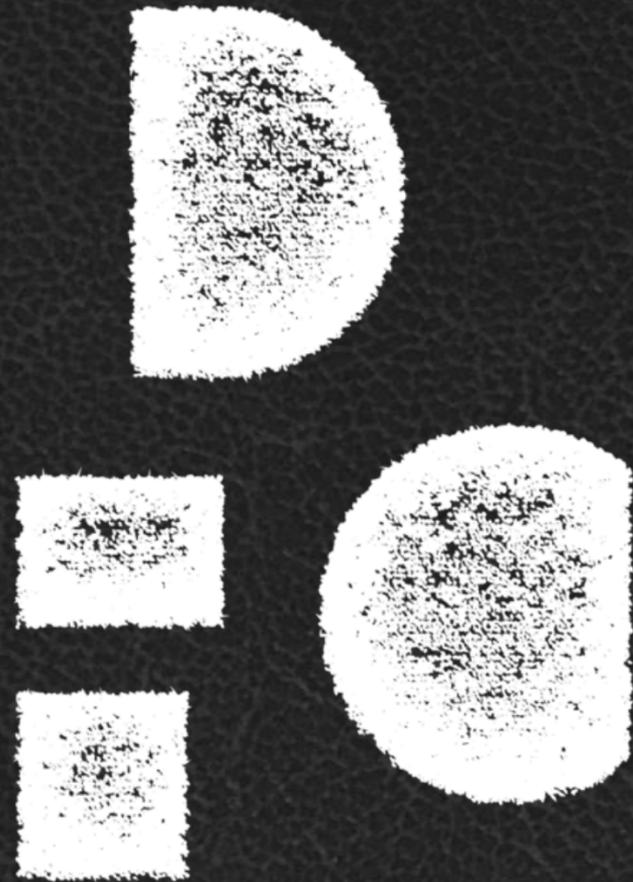


未来洞察プログラムのご案内



DESIGN FUTURES COLLECTIVE

Powered by **BUSINESS INSIDER** × **ID|**
INFOBAHN DESIGN LABO.

Ver3.2_2025/05/16

01

プログラム概要

Outline

Design Futures Collectiveとは？

“Better Capitalism-やさしさがめぐる経済-”をスローガンに、
未来の兆しを報じてきた経済メディア

**BUSINESS
INSIDER**

×

サービスデザインなど“Design”のアプローチを通じて、
企業のビジョン開発や事業開発を支援してきた事業部門

IDI

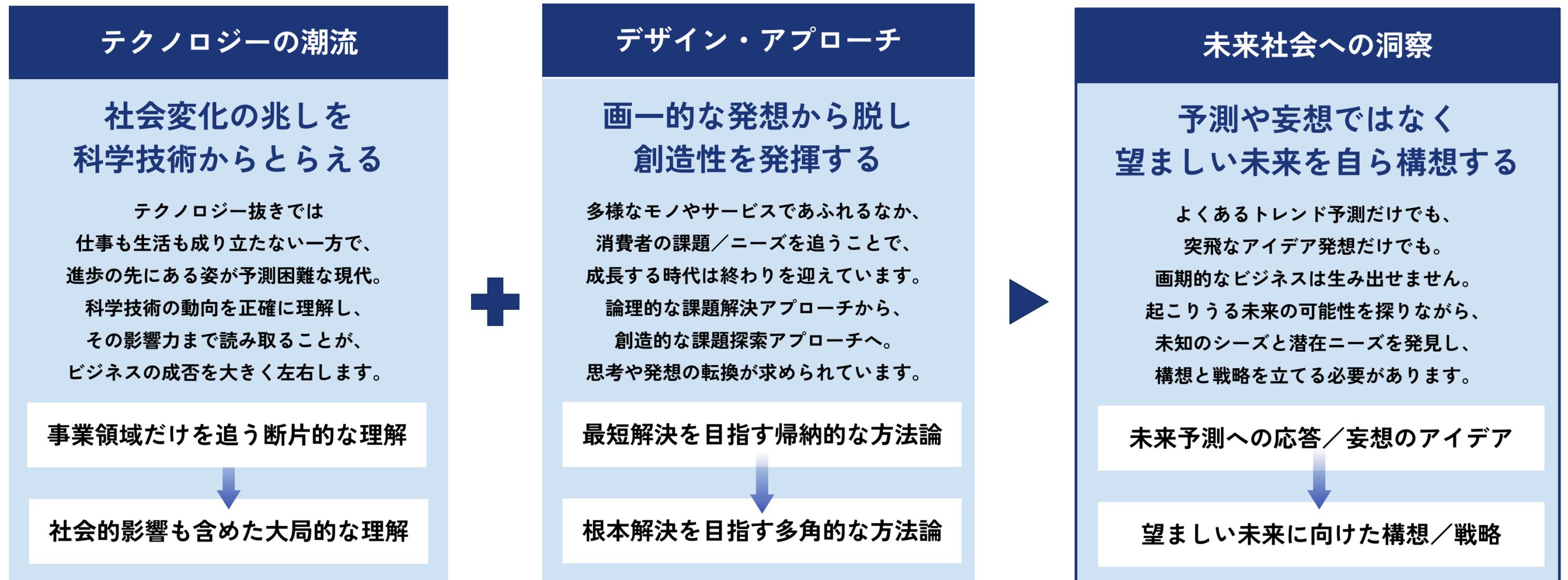
INFOBAHN DESIGN LABO.

メディア／デザインという専門性を有する両者が共同で運営する、
「未来洞察プログラム」です。

新たなビジネス創出を担う方に向け、
「テクノロジーの潮流」と「デザイン・アプローチ」
について学びながら、未来社会を洞察する知識と体験を提供します。

イノベーションに不可欠な要素

これからのイノベーションは、技術開発や市場開拓だけでは起こせません。
「テクノロジーの潮流」を理解し、「デザイン・アプローチ」を取り入れながら、
「未来社会への洞察」を深めることが不可欠です。



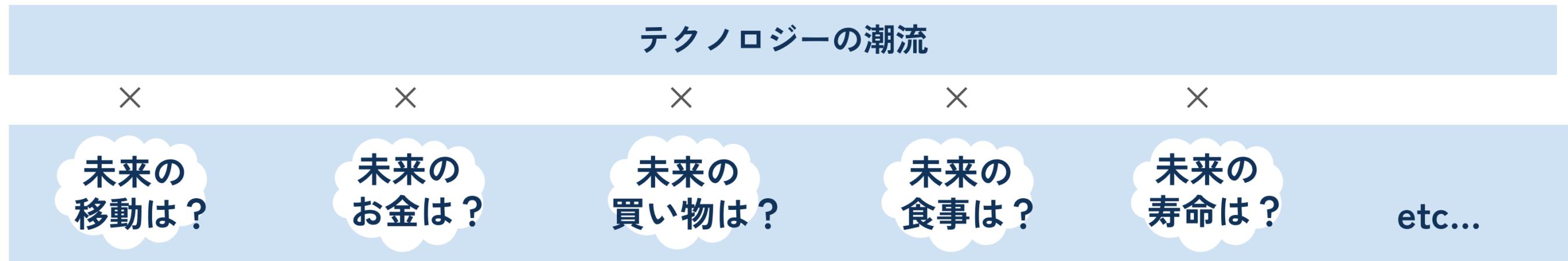
「テクノロジーの潮流」について

現代のビジネス競争力の源泉は、「テクノロジーの活かし方」にあります。
「テクノロジーの潮流」をつかむことは、革新的な事業の種を考えるベースになります。

「産業動向」を追う視点：顕在化している課題への解決に向かう



「テクノロジーの潮流」をとらえる視点：産業構造を越えた新たな問いや発想に向かう



「デザイン・アプローチ」について

「デザイン・アプローチ」とは、見た目の美しさを追求することではなく、課題自体を再定義して新たな価値の創造を目指す、ビジネスの根幹に関わる手法です。

直線的なアプローチ：複数の課題を整理・優先付けし、適切な解決策を絞り込む



- ・短期的な成果に焦点が向く
- ・顕在化した課題に対応
- ・与えられた選択肢から合理的に選択

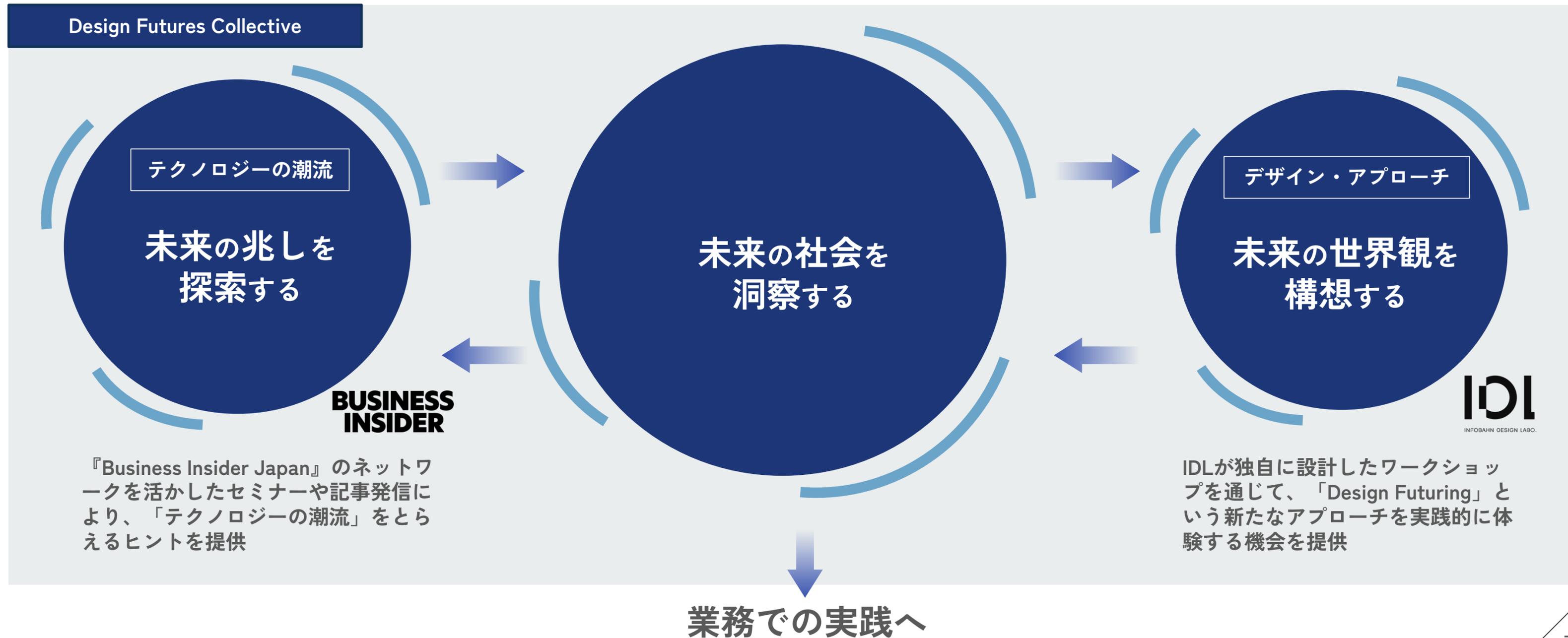
デザイン・アプローチ：課題自体の探索から始め、発想／批判／検証を繰り返しながら戦略を練る



- ・根本的、長期的な解決に焦点が向く
- ・未知の課題を発見、既存の課題を再定義
- ・多様な発想から新たな選択肢を創出

未来洞察プログラム

「Design Futures Collective」では、セミナーやワークショップを通じて未来社会を探索・構想しながら、「未来洞察」の知識と手法を学んでいきます。



参加者イメージ

新たなビジネス創出を目指す方、すべてが対象です*。

特に「経営企画」「事業開発」「事業ブランディング」を担う方におすすめてです。

ex.) 経営企画部

- ・経営層が掲げるビジョンや戦略が曖昧で、意味を成していない。
- ・経営層と現場とで板挟みになる。
- ・事業アイデアを考えても、経営判断を仰ぐだけの根拠を示せない。



経営計画策定やDX推進/
CX戦略における担当者

ex.) 事業開発部

- ・新規事業より既存事業が優先され、リソース（人材／予算）不足。
- ・複数の関係者が関わる中で、取り組みの優先順位がつけにくい。
- ・戦略的なアイデアが浮かばない。



新規事業の
プロジェクトマネージャー

ex.) マーケティング部

- ・目に見える数値（売上／CVR）へのプレッシャーが強く、長期的な戦略を立てられない。
- ・多様なユーザーやチャネルを勘案した一貫性のある発信が難しい。



新製品・サービスの
ブランディング担当者

*業界や業種、役職、所属企業の大小は問いません。

*研究者や起業家、フリーランスの方なども歓迎いたします。

運営メンバー

起業家/インキュベーター

小林弘人 | インフォバーン会長兼社長 (CVO)



1994年に『WIRED（日本版）』を創刊し、編集長を務める。1998年にインフォバーンを創業し、『Gizmodo Japan』など紙とWebの両分野で多くの媒体を創刊するとともに、コンテンツ・マーケティングの先駆として活動。現在は、企業や自治体のDXやイノベーション推進支援を行うほか、海外視察プログラム等を企画、実施している。

科学ジャーナリスト

三ツ村崇志 | 『Business Insider Japan』記者・副編集長



北海道大学理学院（物性物理学専攻）修士課程を修了。元・科学雑誌『Newton』編集者。科学コミュニケーション、科学ジャーナリズムを模索し、2019年より『Business Insider Japan』に移籍。好きな分野は材料科学。医療問題、科学技術が絡む意思決定や最先端テクノロジーの社会実装、ESG文脈でのテクノロジーの使われ方、そこに关わる人の悩みなどを中心に取材。

デザインディレクター

辻村和正 | インフォバーン執行役員/IDLディレクター



南カリフォルニア建築大学大学院修了、建築学修士。国内外の建築デザインオフィス、デジタルプロダクションを経て、2014年にインフォバーンに入社。デザインリサーチを起点に様々なスケールのサービス・プロダクトのデザインに従事。主な受賞歴に、文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品、New York Film Festival Finalist、ACM UIST Best Demo、日本デザイン学会年間作品賞等がある。

経済メディア編集長

高阪のぞみ | メディアジーン執行役員/
『Business Insider Japan』ブランド編集長



プライスウォーターハウスクーパース コンサルタント（現・日本IBM）、プレジデント社を経て、2018年より『Business Insider Japan』にてブランドスタジオ、アワードイベントの立ち上げ等を行う。現在はブランド編集長として、メディアの方向性を決める役割を担う。東京大学文学部卒。多摩美術大学クリエイティブリーダーシッププログラム（TCL）修了。

02

プログラム詳細

Content

構成

プログラムは、全6回で構成*。

「未来洞察」の知識や手法を学びながら、会員同士の交流が深まるよう設計しています。

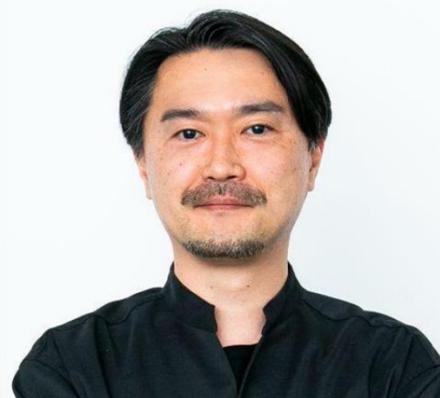
1) 07/18 (金) 18:00-21:00	セミナー：ビジネスにおける「Design Futures」の可能性
2) 08/05 (火) 18:00-21:00	セミナー：先端テクノロジーをビジネス実装するには？
3) 08/22 (金) 12:00-19:00	Design Futuring ワークショップ①：探索パート
4) 09/05 (金) 12:00-19:00	Design Futuring ワークショップ②：想像パート
5) 09/19 (金) 12:00-19:00	Design Futuring ワークショップ③：戦略パート
6) 10/03 (金) 17:00-21:00	発表会＋交流会

*プログラム内容および各回の所要時間は変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。

第1回 | セミナー

第1回は、キックオフとして「Design Futures」についてのセミナーを実施します。
ゲストには、日立製作所のChief Design Strategistを務める赤司卓也さんをお招きします。

スピーカー①



日立製作所
Chief Design Strategist
赤司卓也さん

▶ [日立製作所 Design Studio](#)

スピーカー②



インフォバーン
執行役員 / IDLディレクター
辻村和正

▶ [IDL\[Infobahn Design Lab\]](#)

テーマ

- ビジネスにおける「Design Futures」の可能性

内容

- 本プログラムの中心となる「Design Futures」という概念／考え方について、IDLディレクター辻村和正よりレクチャーします。
- また、日立製作所・Design StudioでChief Design Strategistを務める赤司卓也さんとともに、未来洞察やデザイン・アプローチのビジネスにおける可能性、実践方法を議論します。
- 最後に、参加者同士でのグループ・ディスカッションを実施します。

タイムスケジュール

- 18:00-18:30 「Design Futures」とは何か？（辻村）
- 18:30-19:30 「Design Futures」の可能性（赤司）
- 19:30-20:00 グループ・ディスカッション
- 20:00-21:00 懇親会

第2回 | セミナー

第2回は、ビジネス視点で「先端テクノロジー」をとらえるセミナーを実施します。
ゲストとして、東大IPCの長坂英樹さん、天地人・代表の櫻庭康人さんが登壇します。

スピーカー①



東京大学協創プラットフォーム開発
(東大IPC)
パートナー／1stRoundディレクター
長坂英樹さん

▶ [東大IPC「1stRound」](#)

スピーカー②



天地人
共同創業者／代表取締役
櫻庭康人さん

▶ [天地人](#)

テーマ

- 先端テクノロジーをビジネス実装するには？

内容

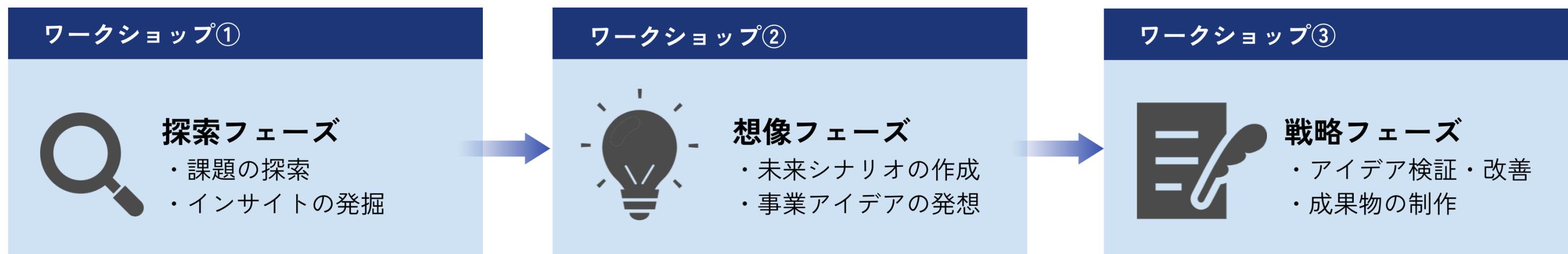
- 大学発スタートアップやディープテック・ベンチャーを支援する東大IPCで、「1stRound」のディレクターを務める長坂英樹さんより、投資／支援の判断基準について語っていただきます。
- 次に、JAXA発の宇宙ベンチャーで、衛星データを活用したユニークなビジネスを展開する天地人の櫻庭康人さんから、その事業戦略・アイデアの源泉についてうかがいます。
- 最後にパネル・ディスカッションを通じて、これからの「テクノロジーとの向き合い方」について、深掘りしていきます。

タイムスケジュール

- 18:00-18:45 スケールするテック・ベンチャーとは？（長坂）
- 18:45-19:30 天地人に学ぶ「テック×ビジネス」の発想（櫻庭）
- 19:30-20:00 パネル・ディスカッション
- 20:00-21:00 懇親会

第3～5回 | Design Futuring ワークショップ

第3回～第5回は「未来洞察」を実践的に学ぶワークショップを実施します。
ステップごとに取り組みながら、「Design Futuring」というアプローチを体得していきます。



内容

- “Better Capitalism”というテーマのもと、独自に設計した「Design Futuring」のアプローチを体感していただきます。
 - ① 「探索」フェーズ：未来社会における「課題（ユーザーのインサイト）」を発見・導出するステップです。
 - ② 「想像」フェーズ：選択した「課題」に対し、想像・議論しながら、「未来シナリオ」を作成するステップです。
 - ③ 「戦略」フェーズ：「未来シナリオ」を検証・改善しながら、事業戦略を構想し、具体的なアウトプットを制作するステップです。
- 3~4人/1グループのグループワークとして実施する予定です。
- 最終的にアウトプットとなる資料（仮想新聞を予定）を制作します。

タイムスケジュール

- 冒頭のレクチャーや休憩を挟みながら、毎回午後6~7時間、3Daysで実施する予定です。

第6回 | 発表会 + 交流会

第6回は、ワークショップの成果を発表し合い、最後に交流会を開催します。
多彩な分野から特別ゲストをお招きし、発表会および交流会に参加いただきます。



内容

- まず特別ゲストをご紹介し、それぞれの方にショートピッチを行っていただきます。
- ワークショップと通して制作した最終アウトプットを、グループごとに発表します。特別ゲストも交えて講評／フィードバックし合い、プログラムを通じて体験してきた「未来洞察」について、理解を深めます。
- クロージングとして、最後に交流会を実施します（特別ゲストも参加）。普段の業務では知り合えない異分野／異業会の方など、本プログラムで出会った方々と親交を深めていただきます。

タイムスケジュール

- 17:00-17:30 ゲスト紹介／ショートピッチ
- 17:30-19:00 発表会
- 19:00-21:00 交流会

プログラム参加で得られること

参加から期待できること

①潜在ニーズを探る視点

社会の変化をいち早くとらえ、新たな課題や潜在ニーズを見つけ出す視点を養えます。

②ビジョンを構想する力

学んだ「Design Futuring」の手法は、事業のビジョンや戦略を構想する際に役立ちます。

③分野を超えたネットワーク

参加者や専門家との対話を通じて、日常では知りえない人や情報に出会うことができます。

参加特典

活動報告レポートを提供*

プログラムの活動内容をまとめた「活動報告レポート」を提供します。社内で共有いただくことも可能です。

「Design Futuring」ツールを提供*

ワークショップの中で用いる「Design Futuring」ツールを提供します。ぜひ社内業務にもご活用ください。

「BI PREMIUM」会費が無料に

月額979円で『Business Insider Japan』のすべての記事が読み放題となる「BI PREMIUM」に、1年間、無料で加入いただけます。

▶ [「BI PREMIUM」詳細はこちら](#)

*レポートおよびツールは、参加者様の所属企業内での利用・閲覧に限ります。所属企業外、関係者外への配布・共有は禁止いたします。

03

料金／お問い合わせ先

Price/Ask

料金／定員

▶プログラム参加料

35万円（税別） / 1人

※同一企業から複数名ご参加される場合、2人目以降は10%引きにてご提供いたします。

▶募集人数／申し込み〆切

定員 | 30名

申し込み〆切 | 2025年6月30日（月）

※定員に達し次第、募集は終了とさせていただきます。

▶事務局連絡先

株式会社メディアジーン
「Design Futures Collective」運営事務局
designfutures@medeiagene.co.jp

場所

▶実施場所

株式会社メディアジーン 本社オフィス6F
「BOOK LAB TOKYO」 イベントスペース
〒150-0044 東京都渋谷区円山町23-2アレトゥーサ渋谷6F



※京王井の頭線「神泉駅」すぐ／各線「渋谷駅」徒歩10分です。

お問い合わせフォーム

▶お問い合わせ／お申し込み先

下記のQRコード or URLのリンク先にある
「お問い合わせ／お申し込みフォーム」よりご連絡ください。

QRコード



or

URL

[https://mediagene.formstack.com/
forms/design_futures_collective](https://mediagene.formstack.com/forms/design_futures_collective)

FAQ

デザイナーとしての経験や素養がありませんが、問題ないでしょうか？

『Design Futures Collective』はいわゆる「デザイナー」の養成を目的したプログラムではありません。
新たなビジネス創出への興味・関心があれば、デザインに関する知識の有無は一切問いません。

リモートでの参加は可能ですか？

原則として、プログラム各回は、すべてオフラインでの現地参加を想定しております。
ただし、第1回～2回のセミナーはアーカイブ動画を視聴し、第3回～6回のみ現地参加とすることは可能です。

都合がつかず欠席した場合、何か対応してもらえますか？

セミナーについては、アーカイブ動画をご視聴いただく対応になります。
ワークショップについては、グループ内で進行が滞ることのないように適宜、事務局がフォローいたします。

途中で退会した場合、返金対応はありますか？

原則として、プログラム期間中の途中解約は受け付けておりません。
ただし、所属企業内での参加者変更には対応いたします。

04

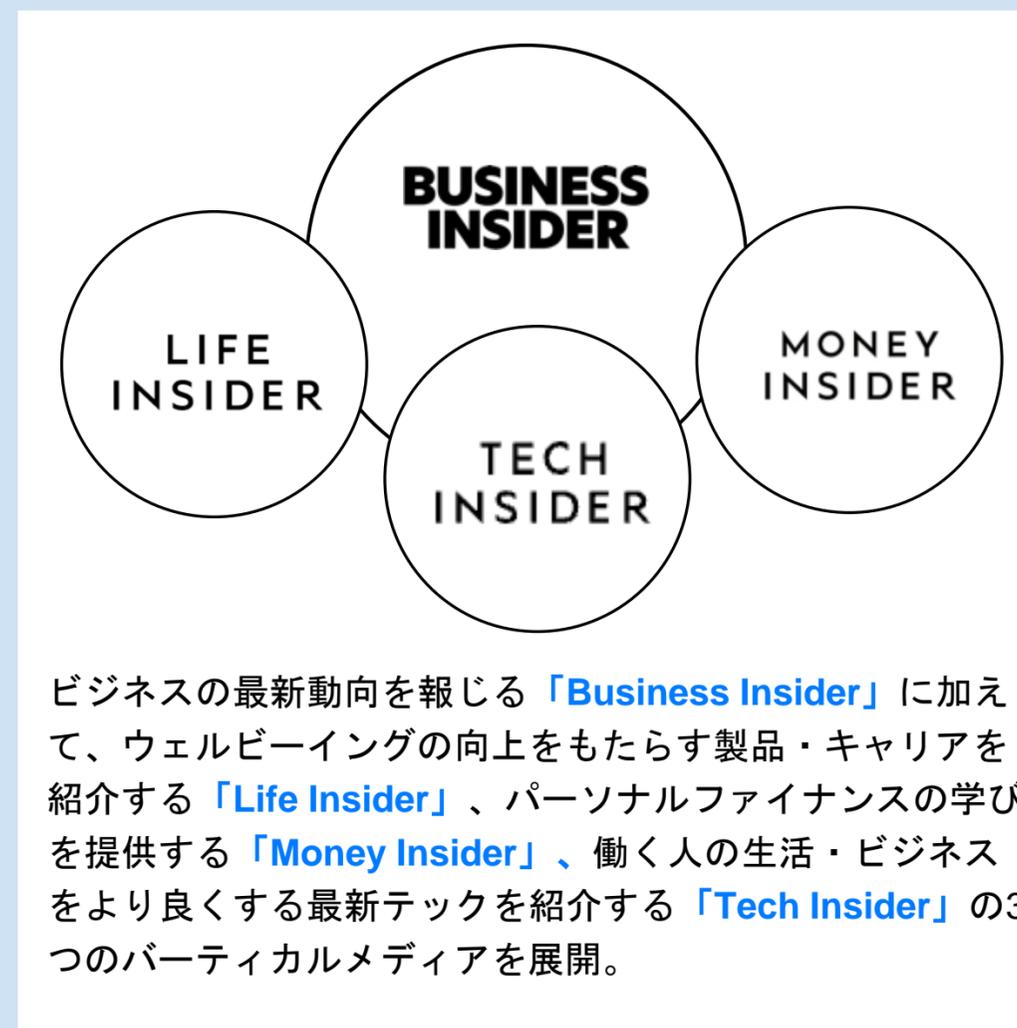
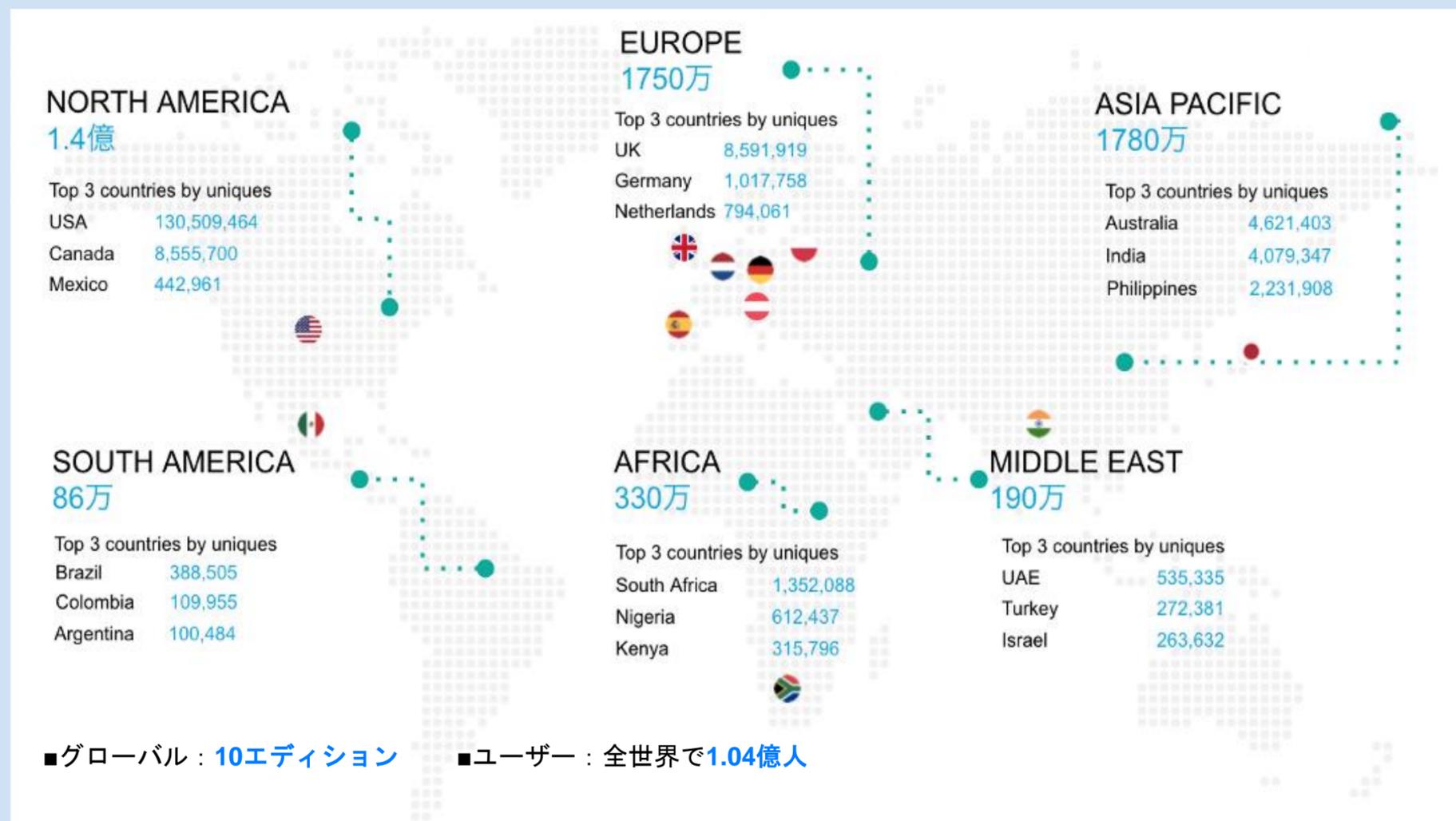
『Business Insider Japan』のご紹介

About BI

メディアプロフィール

Business Insider Japanを見れば、日本・世界のこれからが分かる

Business Insider Japan は、世界10エディションを展開するグローバル・オンライン経済メディアの日本版です。成長から循環へ、社会のあり方が大きく変わろうとしている中で、「Better Capitalism—やさしさがめぐる経済をつくろう—」を合言葉に、未来の兆しを感じるビジネスニュースや働き方、社会のあり方を伝えています。



メディアプロフィール

**BUSINESS
INSIDER**

2016年の日本版ローンチ以来、感度の高いビジネスパーソンをターゲットに急成長。
通常記事 / 有料記事に加えて、動画、イベントなど多角的にコンテンツを届けています。



ビュー数（月間）

23,000,000 +views※

ユニークユーザー数（月間）

6,700,000 +UU※

公式アカウントのファン数

f 55,000 +FANS

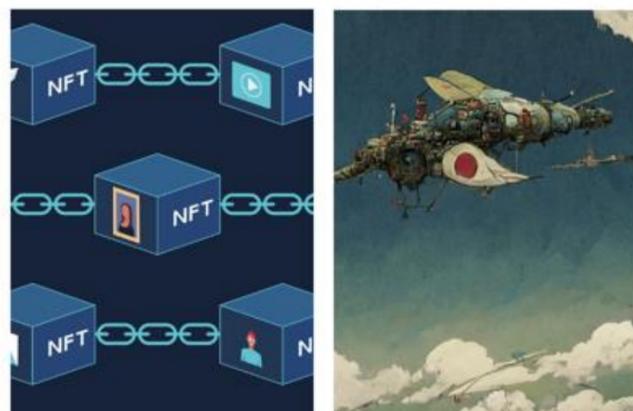
X 46,100 +FOLLOWERS

※2023/11~2024/10の期間でのGoogle Analyticsによる計測。オンサイト上の数値と外部メディアの数値の合算となります。

提供コンテンツ

“やさしさ”を起点にした社会のあり方、未来の兆しを感じる動きにフォーカス。
時代の「半歩先」をいく情報やコンテンツを発信しています。

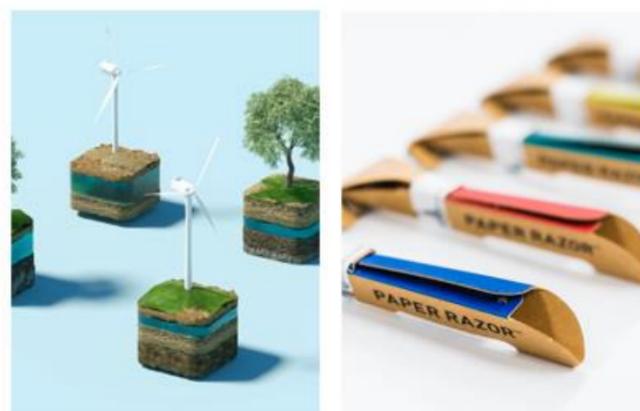
テクノロジーの未来



NFTに未来はあるか？

「絵を描くAI」の秘密

脱炭素の現在地



脱炭素とはなにか

なぜ？脱プラスチック

これからの働き方



Z世代のキャリア観

週休3日がやってくる！

変わる業界の常識



半径1キロのモビリティ革命

経営課題としてのジェンダー

Business Insider Japanが注目してきたキーワード（一例）

#生成AI #サステナビリティ #DEI #B-Corp #人的資本経営 #週休3日
#新資本主義 #FIRE #Deeptech #クライメートテック #メタバース

#Z世代とキャリア
#DX #CX

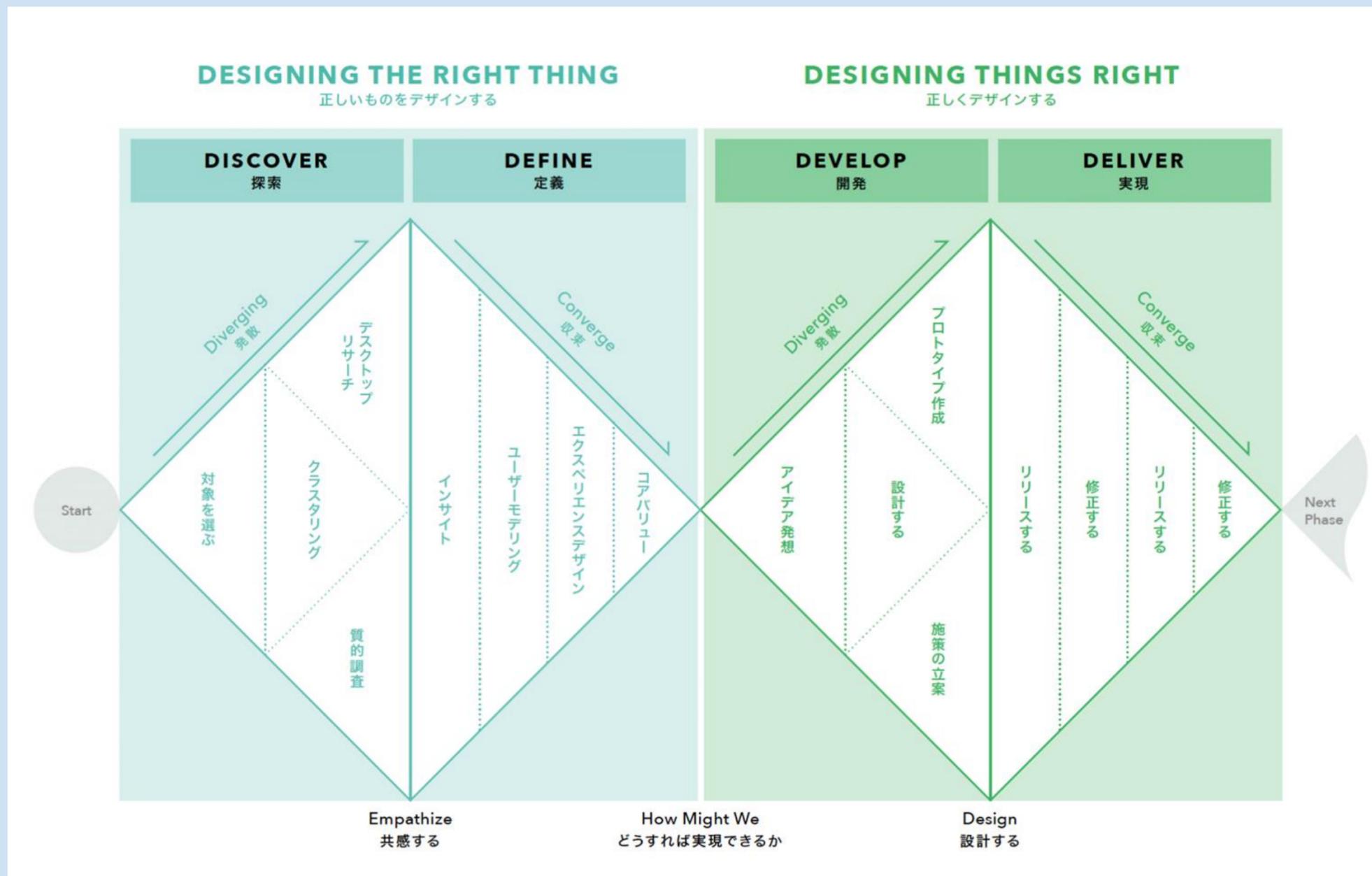
05

IDL [Infobahn Design Lab.] のご紹介

About IDL

IDL [Infobahn Design Lab.] について

IDL [INFOBAHN DESIGN LAB.]は、メディアジーン・グループに属する株式会社インフォバーンのデザイン部門です。デザインのアプローチを取り入れた手法を、プロジェクトの目的や内容に合わせて適切に設計し、実行しています。



支援内容

良質な顧客体験を提供するプロダクト・サービスの構想支援、および企業の中長期的な成長戦略を策定するためのビジョンの構想支援を行っております。デザインリサーチやサービスデザインのアプローチを用いて、顧客に提供すべき価値、解決すべき課題を明らかにし、ステークホルダーや社会に対する新たな価値を創出します。

1

新規事業開発支援

生活者視点に基づくインサイトリサーチを起点として、新規事業開発を包括的に設計します。

- インサイトリサーチ
- トライブリサーチ
- インキュベーションデザイン
- ビジネスデザイン

2

製品・サービス開発支援

サービスデザインのアプローチを用いて、製品・サービスの開発およびその提供システムを設計します。

- インサイトリサーチ
- デザインスプリント
- プロトタイピング
- サービスデザイン
- 情報設計
- UI/UXデザイン
- プロダクトデザイン

3

ビジョンデザイン支援

デザイン発想のリサーチやワークショップを用い、目指すべき未来の探索を行い、言語化や可視化を支援することができます。

- 未来動向インサイトリサーチ
- タイムマシーンリサーチ
- SFプロトタイピング
- 外部・内部への伝達
 - ビジョンイメージのビジュアライズ／記事／動画化
 - Vision Mission Valueへの落とし込み／従業員への浸透 など

①新規事業開発支援

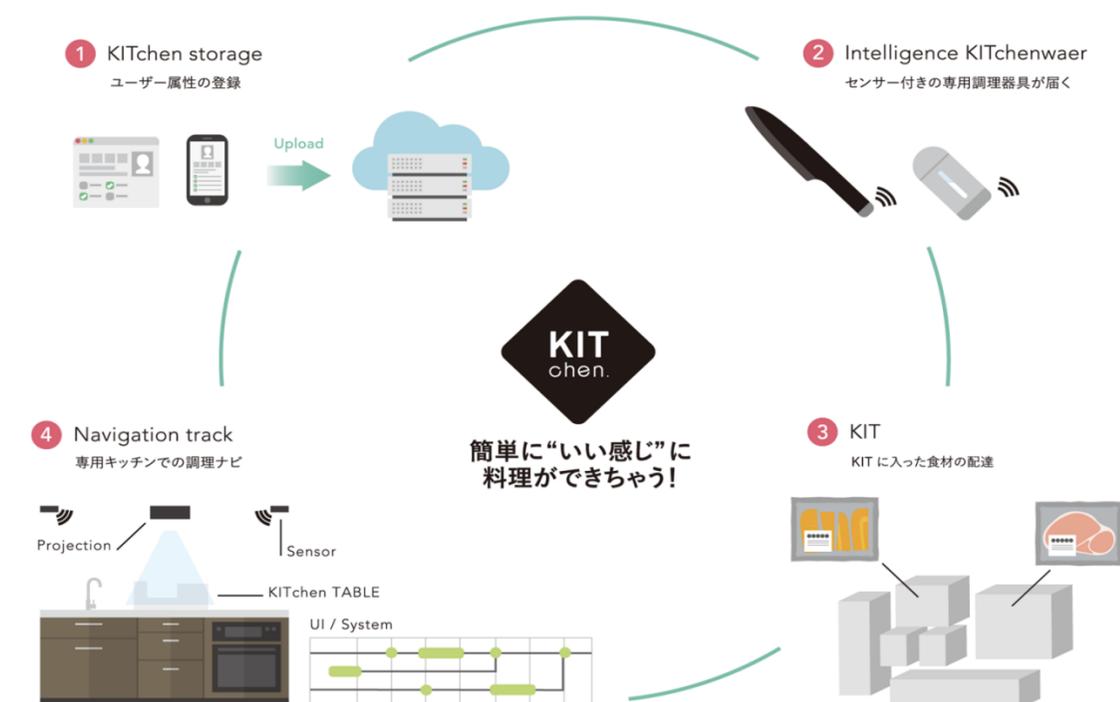
ユーザーのニーズや特性に
合わせた未来の料理体験の創出

背景

「食」というテーマを軸に、「生産 / 流通 / 料理 / 食事」それぞれのプロセスにおける課題の発見と解決を図るための共創プロジェクト「KITchen.」を立ち上げ、「未来の料理体験」をテーマに、情報インターフェースと新しい体験デザインについて研究開発を進めています。

実施内容

リサーチとアイディエーションを繰り返す中で「簡単にいい感じに料理ができる」為に多くのハードルが存在していることが浮かび上がりました。そこで、このプロジェクトKITchen.はパーソナルなニーズ、嗜好性に寄り添う料理支援サービスというコンセプトのもとスタートしました。ユーザーの特性（嗜好、健康状態等）にあわせて提供されたレシピと食材を、付属のセンサー付調理器具と連動した直感的なナビゲーションシステムにより、KITchen.はユーザーの料理体験を総合的にサポートします。



プロジェクト事例

②製品・サービス開発支援

未来洞察によるコンセプト創出 とプロトタイプ制作支援

背景

株式会社日立製作所が展開するエネルギー領域の新規プロジェクト「ユビキタスグリーンエネルギー」の領域探索と初期プロトタイプデザイン・開発、コンセプトおよび提供サービス内容の検証支援をご依頼いただきました。

実施内容

領域探索（リサーチ）とサービスアイデア検討、初期プロトタイプデザイン・開発、コンセプトおよび提供サービス内容検証のためのリサーチを複数のフェーズに分け支援しました。初期フェーズでは、未来洞察から得られた洞察をコンセプトとして昇華し、複数のサービスアイデアをMVS（Minimum Variable Service）として具現化。その上で、仮想ユーザーと特定領域専門家（Subject Matter Expert）にコンセプト検証を実施しました。さらにアイデアを選別し、ユーザー体験をブラッシュアップすると同時に、実際に触れることが可能なプロトタイプとコンセプトムービーとして具体化。その後、具体的な提供サービスを検討する際のリサーチも併せて支援を行いました。



プロジェクト事例

③ビジョンデザイン支援

SFプロトタイピングを通じて 「2045年ビジョン」を構想

背景

車載機器の開発・生産・販売を行うパナソニック オートモーティブシステムズ株式会社が、「移動の未来」を見すえたビジョンを構想されるなかで、バックキャストによるアイデア発想の支援を依頼されました。

実施内容

本プロジェクトでは、まずプロのSF作家とともに、自動車に限定されない「未来の社会における『移動』のあり方」をテーマとして、リアルな「2045年の世界」を描いたオリジナルSF小説を3編制作。それを題材にワークショップを行い、事業や事業周辺領域に関するビジョンを社員同士で議論していく、という方法を取りました。「SFプロトタイピング」と呼ばれる一連のプロセスを通じて、業務をするなかからは浮かばないアイデアや視点、着眼点生まれ、社会やユーザーにとって望ましい「移動の未来」を踏まえたビジョンを探索・構想することを支援しました。



mediagene

複製禁止・関係者以外への配布をお断りいたします。